資料１－５

独立行政法人 教職員支援機構

National Institute for School Teachers and Staff Development

本　　部｜茨城県つくば市立原3番地
東京事務所｜東京都千代田区一ツ橋2-1-2
　　学術総合センター11階



ミッション：教職員の資質向上に寄与する

① 教職員の新たな学びの創出
- ・研修の在り方に関する研究・開発
- ・教職員の学びの協働開発

② 新たな学びの支援
- ・オンライン動画配信
- ・教育委員会・大学・大学院等との協働

③ 社会に開かれたNITS
- ・民間との協働、情報発信
- ・教員資格認定試験の実施

教職員の総合的支援を行う全国拠点

- 全国の教育委員会や研修センター、学校現場など全国の**学校関係機関を繋ぐハブ機能**を担い、総合的な教職員支援を行うナショナルセンター。
- 持続的な研修の質の向上や学び合いのコミュニティの醸成を通じて、**「教職員の学び」の一層の深まりと「研修観の転換」の効果的かつ持続的な推進**を図り、主体的・対話的で深い学びを支える教職員を育成。



NITSが主催する研修（令和8年度実施予定）

令和8年11月2日現在

全体を通じた目的：「変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶ教職員」の姿の実現

職階別中央研修

各地域で学校教育において中心的な役割を担う教職員の学校経営等に資する課題解決力の育成を主たる目標とする研修

- 校長研修
- 副校長・教頭等研修
- 中堅教員･次世代リーダー教員研修
- 事務長等研修
- 事務職員研修
  （対面またはオンライン＋オンライン1日（計6日））

学校教員 / 学校管理職 / 事務職員 / 指導主事 / 教育行政幹部職員 / 教職大学院生

探究型中央研修

各地域で学校教育において中心的な役割を担う教職員の探究に向かう力の涵養を主たる目標とする研修

- コア研修（探究的な学び1年コース）
- コア研修（学校課題2年コース）
- 特定課題探究研修（キャリア）
- 特定課題探究研修（生徒支援）
- 教育行政リーダー研修
  （対面またはオンライン・インターバル開催）

学校教員 / 学校管理職 / 事務職員 / 指導主事 / 教育行政幹部職員 / 教職大学院生

指導者養成研修

特定の教育課題に関する各学校や地域における指導者の養成等を目標とする研修

- 学校組織マネジメント指導者養成研修
- カリキュラム・マネジメント指導者養成研修
- 生徒指導指導者養成研修
- 教育相談指導者養成研修
- 幼児教育指導者養成研修
- 道徳教育指導者養成研修
- 人権教育指導者養成研修
- 体力向上マネジメント指導者養成研修
- 健康教育指導者養成研修
- 食育指導者養成研修
- 学校安全指導者養成研修
- 外国人児童生徒等への日本語指導指導者養成研修
- 学校教育の情報化指導者養成研修
- キャリア教育指導者養成研修
  （対面またはオンライン　2日～4日）

学校教員 / 学校管理職 / 事務職員 / 指導主事 / 教育行政幹部職員 / 教職大学院生

研修マネジメント力協働開発プログラム等

各学校や地域とともに教職員研修の充実を図ることを目標とする研修

- 研修マネジメント力協働開発プログラム（全国版）
  （オンライン・インターバル開催（計4日））
- 研修マネジメント力協働開発プログラム（地域版）
  （対面またはオンライン　全国7ブロック）
- 探究を支えるｸﾞﾙｰﾌﾟﾌｧｼﾘﾃｰﾄ力協働開発ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
  （対面およびオンライン　インターバル開催（計7日））
- 教育行政リーダー・ダイアログ（オンライン）

学校教員 / 学校管理職 / 事務職員 / 指導主事 / 教育行政幹部職員 / 教職大学院生

その他セミナー等

- NITS Learning Hub
  （対面（各回3時間））
- 入職支援セミナー（仮称）
  （オンライン（予定））
- 共生社会を実現する教育研究セミナー
  （オンライン）
- 【参考】子どもを主語にした個別最適な学びセミナー（R5～R7）

学校教員 / 学校管理職 / 事務職員 / 指導主事 / 教育行政幹部職員 / 教職大学院生 / その他

現在NITSで実施している研修等の参加対象者

研修参加対象

- 学校教員
- 学校管理職
- 事務職員
- 指導主事
- 教育行政幹部職員
- 連携教職大学院の学生（現職教員）

※学校については、公立・私立・国立の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教職員を対象
　行政については、教育委員会、教育（研修）センター所属者を対象

研修参加対象外

- 復職教員
- ペーパーティーチャー
- 学校支援スタッフ
- 社会人入職者
- 大学教員
- 養成課程の学生

＜研修の参加定員＞　※セミナー等は除く
・対面：40～150名　（会場の規模による）　　・オンライン：最大250名程度
＜参加条件＞
※一部のプログラムを除き、参加者は推薦を受けて決定する。
（推薦窓口）　公立学校教職員・指導主事等…都道府県・政令指定都市・中核市教育委員会
私立学校…都道府県（私立学校担当部局）
国公立大学附属学校…国公立大学法人（附属学校担当部局）



参考：関係規程等

独立行政法人教職員支援機構業務方法書
第２章　機構が行う業務
第３条　機構は、次に掲げる学校教育関係職員に対する研修を実施する。
一　**国公立の学校**の教職員
二　都道府県・市町村の教育委員会において**学校教育に係る職務に携わる職員**

独立行政法人教職員支援機構運営基本理念・運営方針（理事長裁定）
１　運営基本理念
（１）教員研修の実施に当たっては、**各都道府県教育委員会や民間機関等では担い得ない、国として真に実施すべき研修**や調査研究等を実施することにより、我が国の教員の資質能力向上に寄与する。

教職員支援機構の実施事業（指導・助言・援助等）

都道府県等への研修に関する指導・助言・援助

○動画教材

＜校内研修シリーズ＞20分程度で教育テーマごとの基礎理論を提示する内容
・累計タイトル数：**187本**（R8年3月時点）　・累計再生回数：**約330万回**（R8年3月時点）

＜学習指導要領シリーズ＞20分程度で学習指導要領について理解するための内容
・累計タイトル数：**82本**（R8年3月時点）　・累計再生回数：**約100万回**（R8年3月時点）

＜実践力向上シリーズ＞10分程度で授業等で実践できる力を身に付けるための内容
・累計タイトル数：**15本**（R8年3月時点）　・累計再生回数：**約14万回**（R8年3月時点）

＜基礎的研修シリーズ＞10-20分程度で教壇に立つ上で必要となる基礎的な内容
・累計タイトル数：**30本**（R8年3月時点）　・累計再生回数：**約40万回**（R8年3月時点）



○「学び合いのコミュニティ」形成支援事業

・全国を7ブロックに分け、各地域にNITSフェロー等を委嘱。
・研修マネジメント力協働開発プログラム(地域版) の実施。

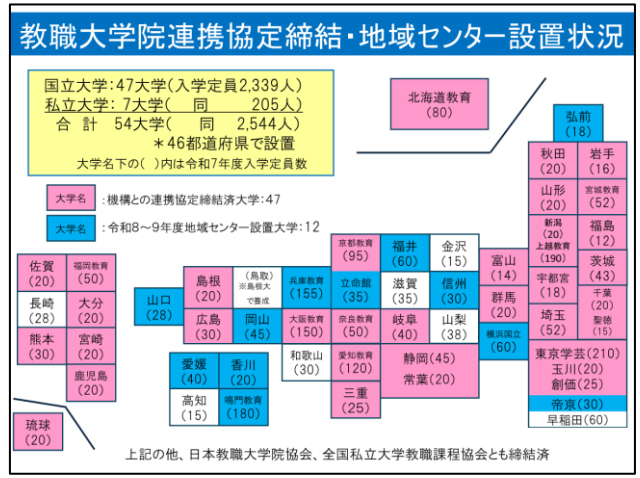


○「新たな教職員の学び」協働開発推進事業

・全国の教育委員会等から特別研修員を受入れ。
・研修の企画立案・運営力の向上を通じた「新たな教職員研修」の開発。

○教職大学院との連携

・47教職大学院との連携協定締結、12地域センターの決定(R8-9)。
・NITS・教職大学院・教育委員会等コラボ研修プログラム支援事業の実施(R7まで)。



○表彰事業「NITS大賞」

・H29年度から毎年実施。教育現場に優れた取組を普及。



○全国教員研修プラットフォーム「Plant」

・文部科学省の承認を得て令和6年4月より運用管理を開始。
・質の高い研修コンテンツの提供と研修の受講履歴の記録。
(54自治体(37都道府県、16指定都市、1中核市)が利用)【R8.4月】

N|TS 独立行政法人教職員支援機構

動画教材　＜基礎的研修シリーズ＞

10-20分程度で教壇に立つ上で必要となる基礎的な内容を紹介
（YouTube掲載）
- 累計タイトル数：**30本**（R8年3月時点）
- 累計再生回数：**約40万回**（R8年3月時点）













1．オリエンテーション	
1	小学校教師の仕事を体験しよう！① ～新人教師の一日に密着！～
2	小学校教師の仕事を体験しよう！② ～教師と子供たちの一年間～
2．基本スキル編	
3	まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～
4	スクール・コンプライアンス
5	学校の組織、チーム学校
3．学級づくり編	
6	学級開き
7	学級目標・学級生活づくり
8	安心して学べる環境づくり ～教室環境～
9	学級生活を楽しく豊かに ～日直・係の仕事～
10	望ましい食習慣を育む ～給食指導～
11	一日の始めと終わりを大切に ～朝の会・帰りの会～
4．授業・単元づくり編	
12	教材研究の方法
13	単元指導計画の立て方
14	学習指導案の書き方
15	子供の心をつかむ ～授業の導入～
16	分かる授業をつくる ～効果的な発問・板書～
17	学力向上の取組
18	指導要録・通知表の書き方
5．保護者への対応編	
19	保護者と信頼関係を築く① ～保護者会・個人面談～
20	保護者と信頼関係を築く② ～連絡・相談～
21	保護者と信頼関係を築く③ ～保護者からの訴えへの対応～
6．教職ブラッシュアップ編	
22	いじめ問題
23	不登校
24	ICT活用（GIGAスクール構想）
25	特別支援教育
26	特別の教科 道徳
27	学び続ける教師をめざして ～学びを深める校内研修～
28	新たな教師の学び
7．Wrap-Up	
29	生まれ変わっても教師になりたい！ ～現役教師座談会～
30	会社員から教師になって ～若手教師インタビュー～

「研修観の転換」の推進

対話や省察を中心とした探究的な学びの提供

「主体的・対話的で深い学び」は、子どもだけでなく、教師自身にも求められる命題
「子どもの学びと教師の学びは相似形」をベースに、全国の教育委員会において「研修観の転換」を推進



講義重視の受身型の研修から



対話や省察を重視した探究的な研修へ



教育委員会研修担当者と研修設計を考える場を全国で開催

研修マネジメント力協働開発プログラム｜マネプロ地域版

全国７ブロックで年３～５回ずつ開催
全ての都道府県が参加



学びあいのコミュニティ形成

県域や立場を超えた学びあいを広げ、
違う視座、価値観に触れ、当たり前を問い直しながら進化



マネプロ地域版(研修マネジメント力協働開発プログラム地域版)

令和7年度より全国7ブロックで展開中

対象

- 教職員研修を担当する教育委員会やセンターの職員
- 各学校の研究主任
- 教職大学院生　など

内容

対話等を通じた研修の在り方や
研修デザインの探究

時期
形式

１年に２ー３回程度
対面・オンライン



マネプロ地域版(研修マネジメント力協働開発プログラム地域版)

Gather. Wonder. Discover.

令和８年度の開催実績（予定も含む）

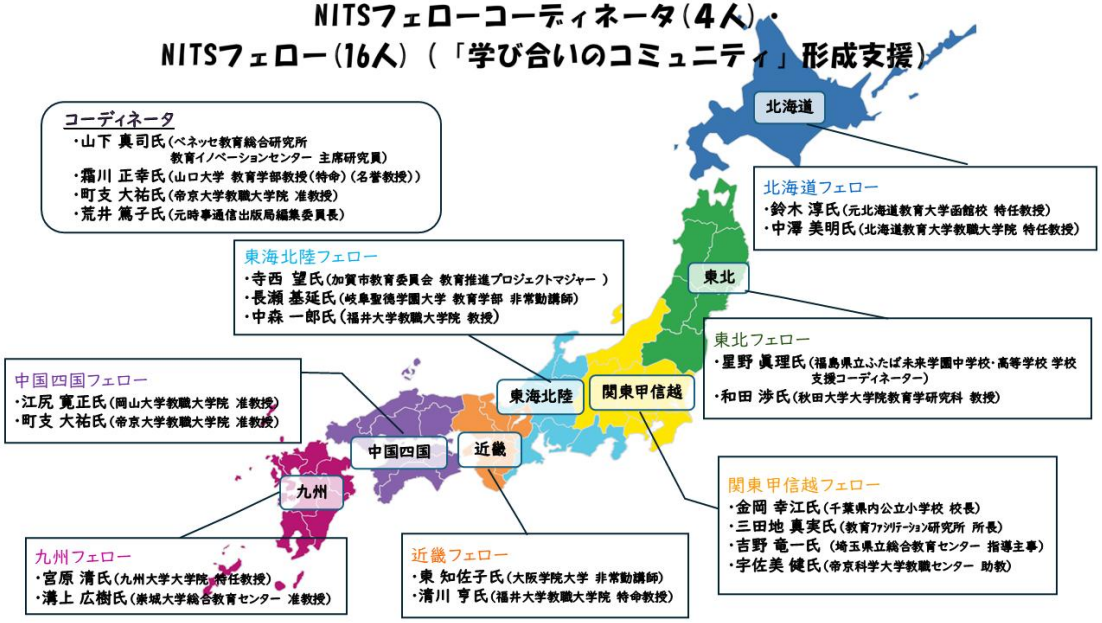








NITSフェローコーディネータ（4人）・
NITSフェロー（16人）（「学び合いのコミュニティ」形成支援）



令和７年度の開催実績

各回50～100名程度の参加

北海道
3回開催（旭川*・札幌*・函館*） 延べ206名

東北
4回開催（秋田・宮城・オンライン２回） 延べ254名

関東甲信越
3回開催（東京・オンライン2回） 延べ133名

東海北陸
2回開催（名古屋*、名古屋/福井(並行開催)）延べ181名

近畿
2回開催（大阪・兵庫） 延べ149名

中国四国
3回開催（高知*・広島・鳥取） 延べ136名

九州
2回開催（大分、熊本） 延べ160名

*オンライン同時開催等を含む

研修マネジメント力協働開発プログラム（マネプロ）とは

- NITSでは、子どもの学びの転換を契機に、それを支える教師の学び（教職員研修）の在り方を今一度問い直すため、「研修観の転換」に向けた取組を進めています。
- なかでも、このマネプロは、各地域の研修担当等が県域を越えて一堂に会し、コミュニティの醸成を図りながら教職員の学びの在り方を協働的に問い、新たな教職員研修を考えていくプログラムです。
- 令和７年度より、全国７地域（北海道・東北・関東甲信越・東海北陸・近畿・中国四国・九州）で展開しています。

対象者

- 教職員研修を担当する教育委員会やセンターの職員
- 各学校で校内研修等を担当する研究主任等
- 教職大学院生

※本プログラムの参加は希望制です。当機構の実施する他の研修と異なり、自治体の推薦は必要ありません。

「新たな教職員の学び」協働開発推進事業｜特別研修員制度

｜目的　○ NITSと教育委員会・大学等が連携した令和の日本型学校教育の実現に向けた新たな教職員研修の協働開発
○ 新たな教職員研修の企画立案・運営を担う人材の育成

｜委託先　都道府県・指定都市・中核市等 教育委員会

｜委託期間　２年間　　**｜委託費**　200万円上限／件

｜内容　○ 教育委員会は指導主事や教員等をNITSに派遣。派遣された職員（特別研修員）は、NITSが提供する「研修マネジメント力協働開発プログラム」への参加や、新たな教職員研修の企画・運営、調査研究プロジェクトを経験。

○ 教育委員会は、教育センターを中心として「新たな教職員研修」に取り組むチームを作る。特別研修員のNITSで得る経験等を活用し、各自治体における新たな教職員研修の開発実施、企画立案・運営を担う人材育成に取組む。

１年目



教育委員会





- 各種研修参加
- 研修企画立案・運営
- 調査研究プロジェクト参画



２年目

- 各自治体での新たな研修の企画立案・運営
- NITSの各プログラムに参加





教育委員会



事業参画自治体の取組 （特別研修員制度）

National Institute for School Teachers and Staff Development

〇A県

教育センターの理念を「子どもの夢と生きる力を育むための探究的な学びを支援」とし、希望研修だけではなく、指定研修の中で探究型研修を複数実施。

〇B府

インターバル形式の探究型研修を実施。その取組、成果をセンター研究として発表。

〇C県＆D県

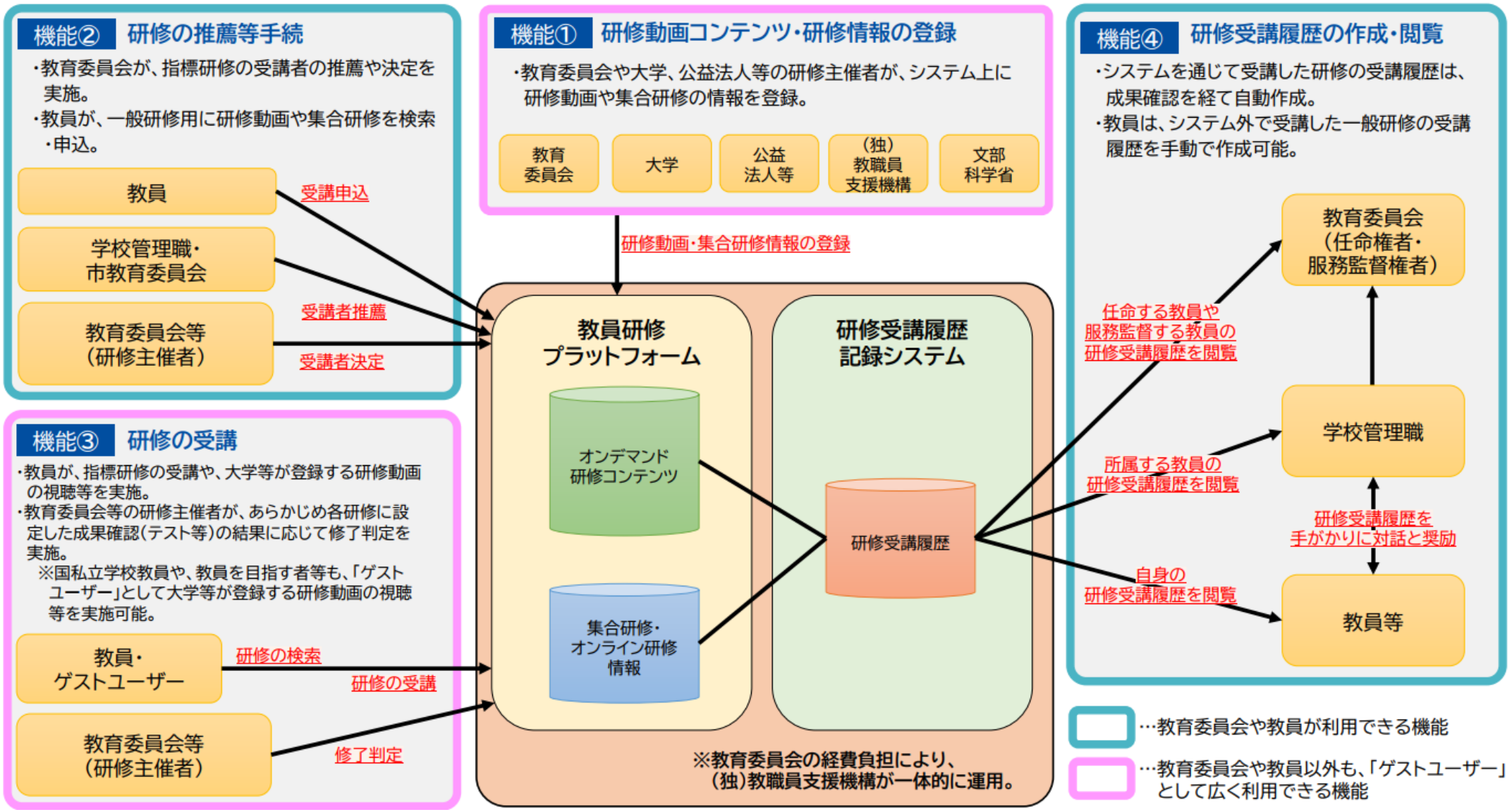
それぞれの県での探究型研修に加え、県を超えたコラボ研修を実施。

現在は上記2県を中心に、他の事業参画自治体等8自治体を対象に実施。

全国教員研修プラットフォーム（Plant）について

ワンストップ化された多様な研修の申し込みから受講、修了判定、教員育成指標と連携された研修受講履歴の自動作成など、各種機能を備えたシステムを構築し活用を推進することにより、「新たな教師の学び」の効率的・効果的な実施に資する。

※図中の「←」は、システムによる各手続きの流れの一例



探究型研修
令和8年度コア研修（学校課題2年コース）

産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業の改革先導を担う拠点校に対し参加枠を設定

参加実績…7校14名

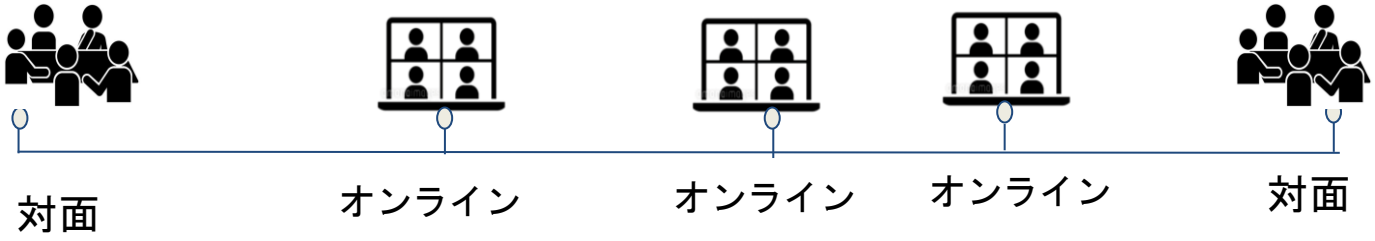




２年コース

１つの学校から管理職＋中堅教員のペアで参加
「自校の課題」について問いを設定し、ペアで協働しながら探究を行う

インターバル



インターバル型研修

- 研修後の実践についての報告や意見交換等のグループ活動を実施
- 省察の深まりと研修内容の実践への転移を目的としたフォローアップ